ふみびと

第３７８号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

忘れたくない始まりの場所

慣れと初心

長く続けていると慣れてくること。普段何気なくやっている仕事もそんなことの一つ。

初めのうちは技術的に一人ではできないことや、覚えることが多くて先輩に聞きながらやってきたことも、いつからか慣れてくると一人でできるようになるもの。

不思議なことにそれくらい慣れてくると、初めの頃のことを案外覚えていなかったりするものです。

初めてその仕事に取り組んだときに感じた難しさや苦労も、あるいは上手くできたときに感じた喜びや達成感も。そんなことを改めて感じさせられたのは、営業の仕事をしている知人から新入社員の教育の話を聞いたときのこと。

基礎的な仕事の手順などを教えていると、つい「これくらいは言わなくてもわかるだろう」と思って説明を省いてしまうそうですが、それでも新入社員にはわからないことも多いもの。

自分も新入社員のときは、先輩社員からしたら「当たり前」のことを知らなかったはずなのに、いつの間にかわかるようになった「当たり前」が新入社員にとっても「当たり前」に理解できるように錯覚してしまうようです。

また営業の後輩社員が初めて成約を取れたとき、喜びを爆発させるような姿に、いつの間にか一件一件の成約に心を躍らせることもなくなってしまったな、とも感じたそうです。

何をするうえでも慣れることはもちろん大事なこと。それでも心のどこか片隅にでも、初めての「あのとき」の気持ちを留めておきたいものです。

「初心を忘れずに」よく言われることだけど、気づかないうちに忘れてしまうもの。時には慣れることよりも、それを思い出させてくれる人と出会うのも大事なのかもしれません。

同じ線でも

時折、手帳を開いて「やること」を書き出す。細々とした家事や仕事の用事を、ひとつずつ書いていく。ページに並ぶ文字を見つめながら、完了した項目にその都度、線を引く。すっと横に引かれた一本の線。それだけで、思っていた以上の達成感が湧いてくる。けれど、ふと手が止まることがある。「やるべきこと」ばかりで、「やりたいこと」に線を引いたことがないからだ。いつか、いや今からでも自分のやりたいことリストを作って、その横に少しずつ線を重ねていけたらと思う。小さな楽しみでも構わない。読みたかった本を一冊読み終えること、気になっていた場所を歩いてみること、旬の果物を味わうこと。そんな些細なことに線を引くたび、生活がほんの少し広がっていくような気がする。これからは、やるべきことと同じくらい、やりたいことにも線を引いていきたい。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局宛の返信用封筒に同封下さい。今までにない交流の始まりです。

次回発送日

10月の発送日は10月14日、27日の予定です。送りたいお手紙がある場合はそれぞれ10日、24日までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。これは発送に間に合わせるための目安ですので、ご自身のペースを大切にしてください。

新機能追加のお知らせ

10月1日、マイページ上で「じぶん地図」がリリースされます。好きなことや趣味など手帳風に自分だけの地図を描いてみませんか？その地図をきっかけに、新たな交流が始まれば幸いです。